

プロジェクト概要	オンデマンド配車アプリ・システムを活用した公共ライドシェアの最適な運行エリアの検証とMaaSアプリとの連携による観光利用の促進		
課題	● コミュニティバスが廃線となり、地域住民の生活の足の確保が必要。 ● 観光客向けの公共交通を確保し、地域経済の活性化が必要。		
取組内容	[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)] ● 昨年度事業で構築したオンデマンド配車アプリ・システムを継続導入し、現在の5地区に加え、新たに4地区に導入する。 ● 住民/観光客観点で需要が見込める乗降地を短期間設定し、利用数の変化量を検証する。 ● アプリダウンロードの手間なく公共ライドシェアを配車できるようにするため、主に観光客をターゲットにブラウザからアクセスできる配車依頼WEBページを構築する。 [モビリティ・データの取得と活用] ● 昨年度事業で構築した運行分析システムを活用し、乗降地毎の利用者数の変化等が可視化できるように改修し、柔軟な乗降地設定の検討材料として利用する。 [エンドコンテンツとの連携] ● MaaSアプリ「my route」内で特定の場所がエリアや目的地に設定されたとき、ルート検索結果に公共ライドシェアを表示する。 ● 「my route」から外部遷移した際に出発地と目的地がセットされた状態でオンデマンド配車アプリ・システムを起動、スムーズな予約を可能にするためアプリ間連携を行う。 [協業化・共通化・標準化] ● 交通事業者であるタクシー事業者が利用している既存配車システムとオンデマンド配車アプリ・システムを連携させ、事業者の業務効率化を実現する。		
	事業エリア	宗像市	
	交通事業者	新星交通、みなとタクシー、宗像グリーンタクシー	
	MaaSアプリ等	● オンデマンド配車予約・指示システム ● 配車管理システム ※宗像市タクシー会社導入済みシステム ● ドライバーズアプリ ※宗像市タクシー会社導入済みアプリ ● 運行分析システム ● My route	
効果	データの活用等	■ データの取得方法:公共ライドシェアに車載器を設置し、車両・ドライバー・利用状況などのデータを収集 ■ データの活用方法:最適な乗降地等の検証に活用	
	座組		
事業の新規性	スケジュール	4～6月 要件定義 7～10月 システム改修 11月～1月 実証運行 2月 効果測定	
		■ 最適な乗降地を設定し、MaaSアプリ「my route」との連携を深化させることで、公共ライドシェアの利用者数の増加 (R7: 1,181人⇒R8: 15,750人へ増加)	
		■ 公共ライドシェアの乗降地の最適化を検証 ■ 運行分析システムに各乗降地の利用状況が把握できる機能を追加 ■ MaaSアプリ「my route」でのルート検索およびオンデマンド配車アプリ・システムとの連携	